

## 8 生涯学習について

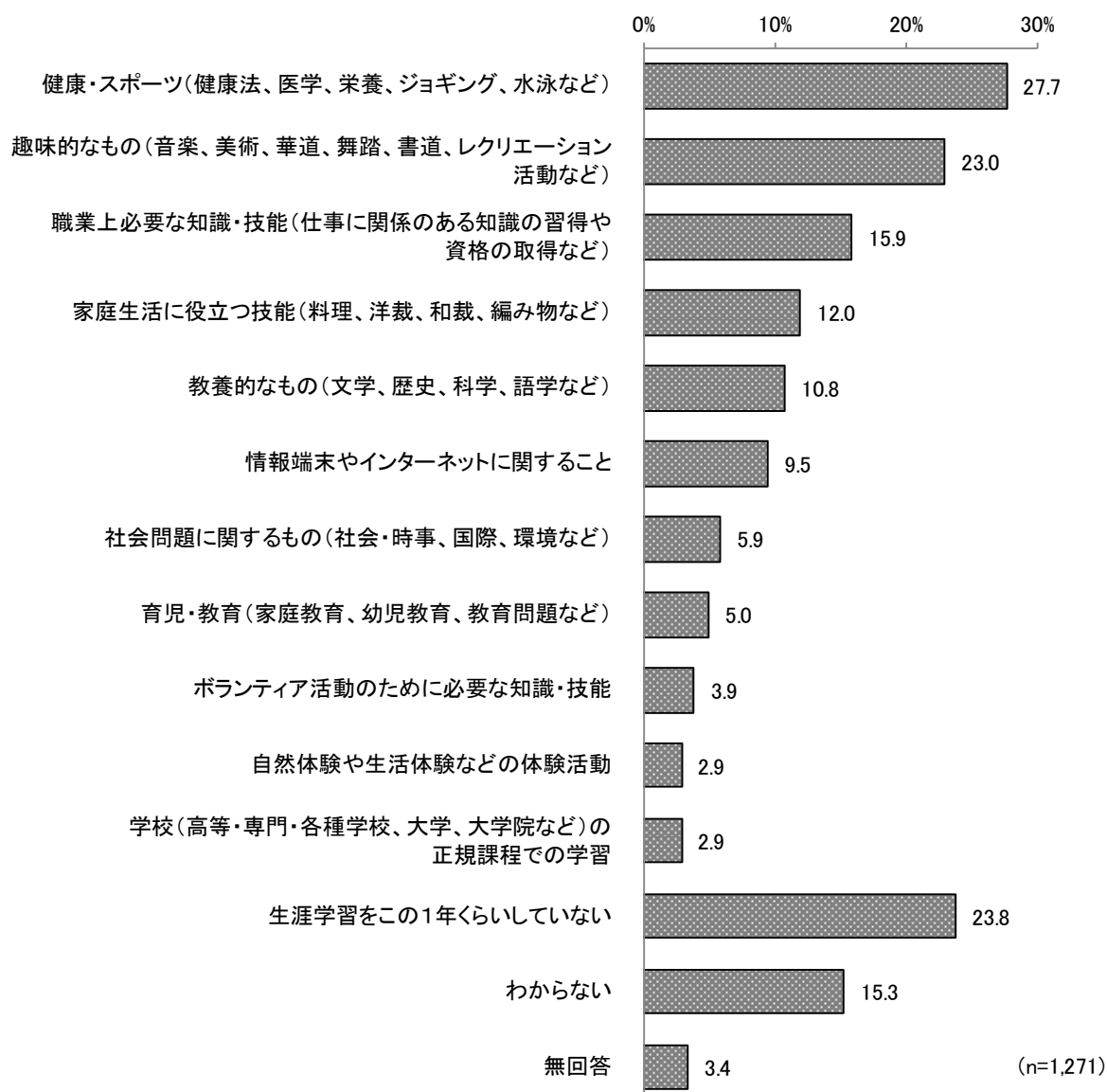
### (1) 最近1年間に行った生涯学習の種類

問20 あなたは、この1年くらいの中に、生涯学習（※）をしたことがありますか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,271]

※ 生涯学習とは、人々が、生涯のいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、学校での学習や公民館などにおける講座等の学習はもとより、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、趣味、ボランティア活動などの様々な学習活動のことをいいます。

|    |  |       |
|----|--|-------|
| 1  | 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踏、書道、レクリエーション活動など）  | 23.0% |
| 2  | 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など）  | 10.8  |
| 3  | 社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境など）  | 5.9   |
| 4  | 健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）  | 27.7  |
| 5  | 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）   | 12.0  |
| 6  | 育児・教育（家庭教育、幼児教育、教育問題など）  | 5.0   |
| 7  | 職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）   | 15.9  |
| 8  | 情報端末やインターネットに関すること（パソコンやタブレット、スマートフォンなどの端末に関することやホームページの作り方、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）の使い方に関する事など） | 9.5   |
| 9  | ボランティア活動のために必要な知識・技能   | 3.9   |
| 10 | 自然体験や生活体験などの体験活動   | 2.9   |
| 11 | 学校（高等・専門・各種学校、大学、大学院など）の正規課程での学習   | 2.9   |
| 12 | 生涯学習をこの1年くらいしていない  | 23.8  |
| 13 | わからない  | 15.3  |
|    | （無回答）  | 3.4   |

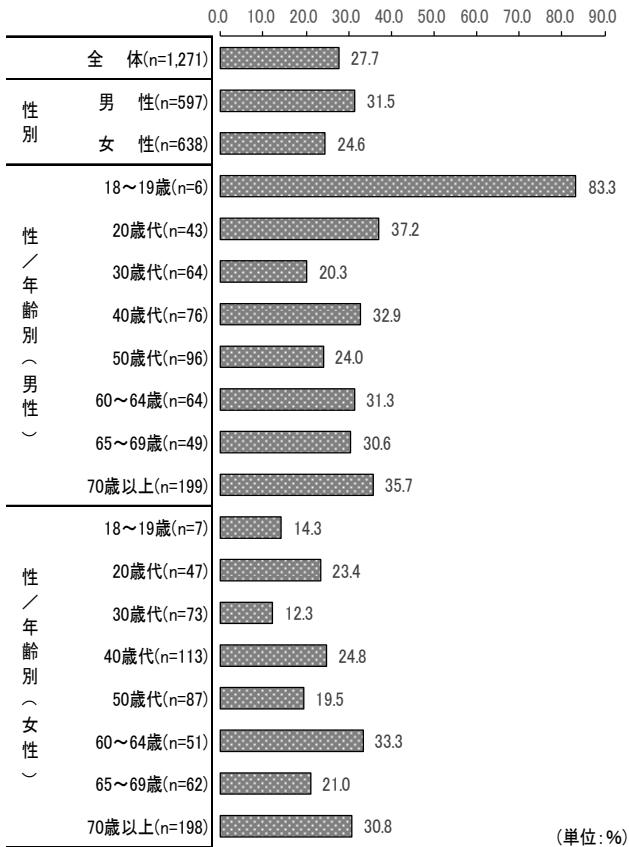
【令和6(2024)年】



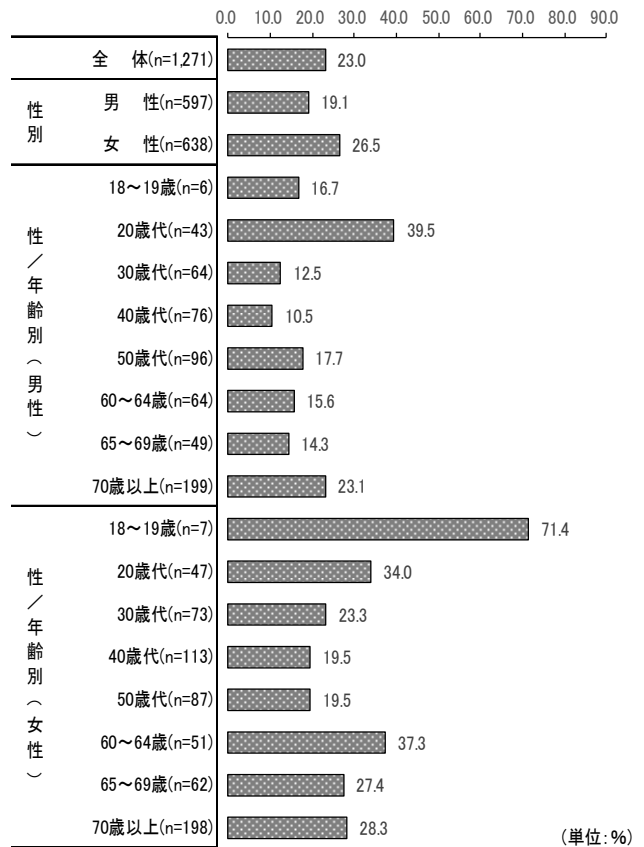
全体でみると、「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」（27.7%）が2割台後半で最も高く、次いで「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踏、書道、レクリエーション活動など）」（23.0%）、「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」（15.9%）、「家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）」（12.0%）の順となっている。

[性別・性／年齢別] (上位10項目)

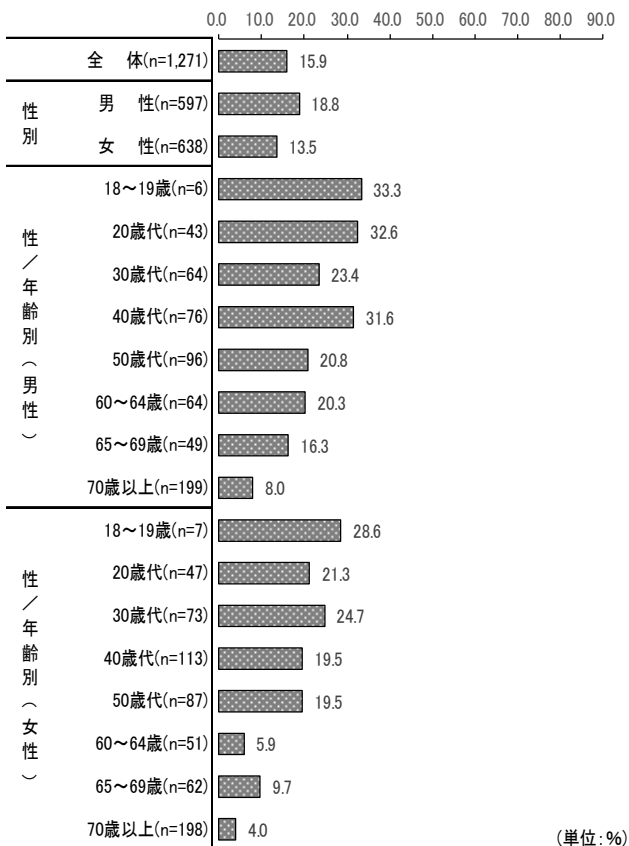
健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)



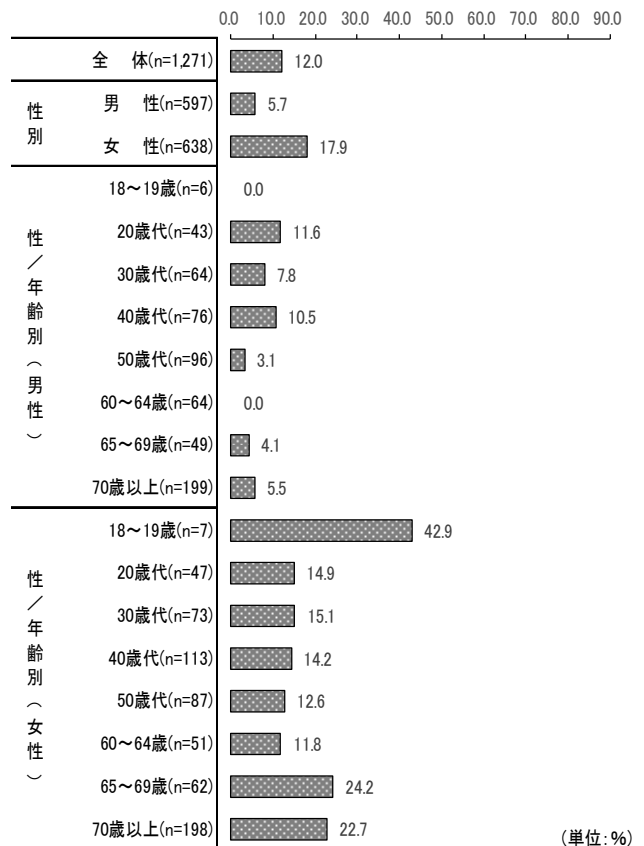
趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踏、書道、レクリエーション活動など)



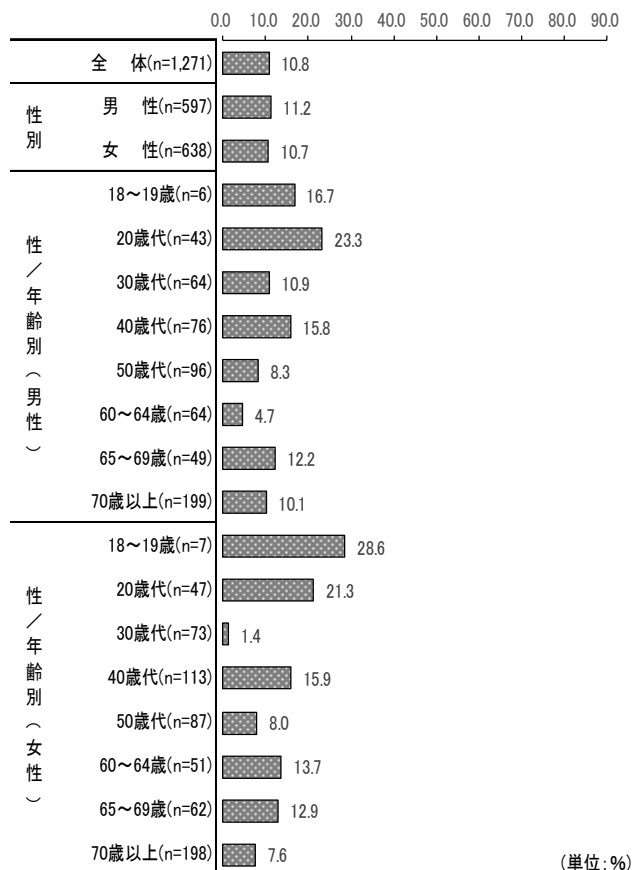
職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)



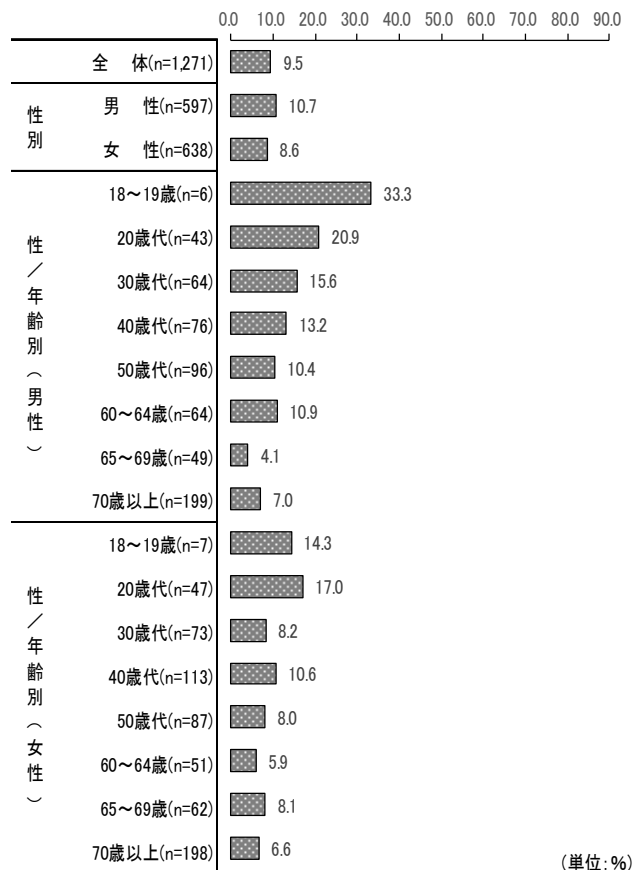
家庭生活に役立つ技能(料理、洋裁、和裁、編み物など)



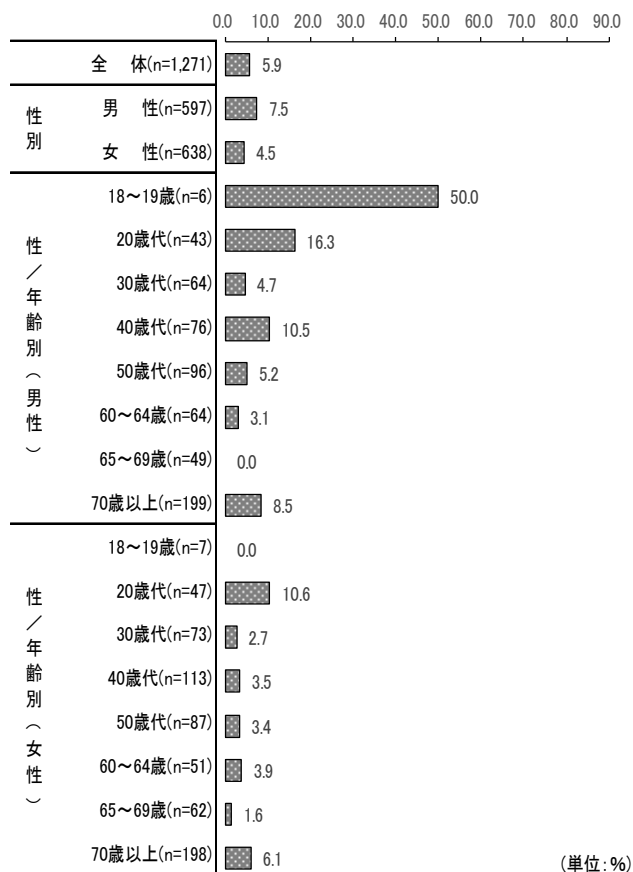
教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)



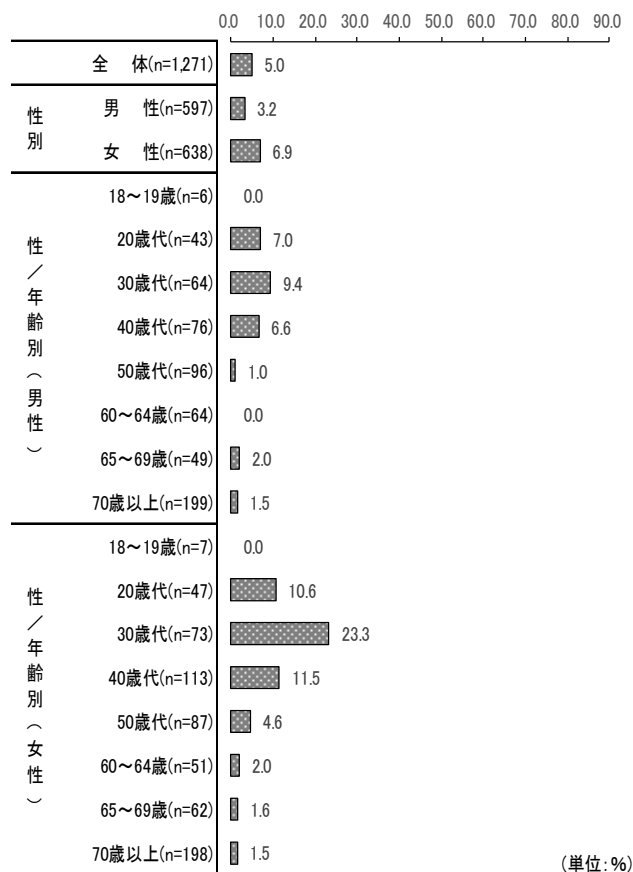
情報端末やインターネットに関すること



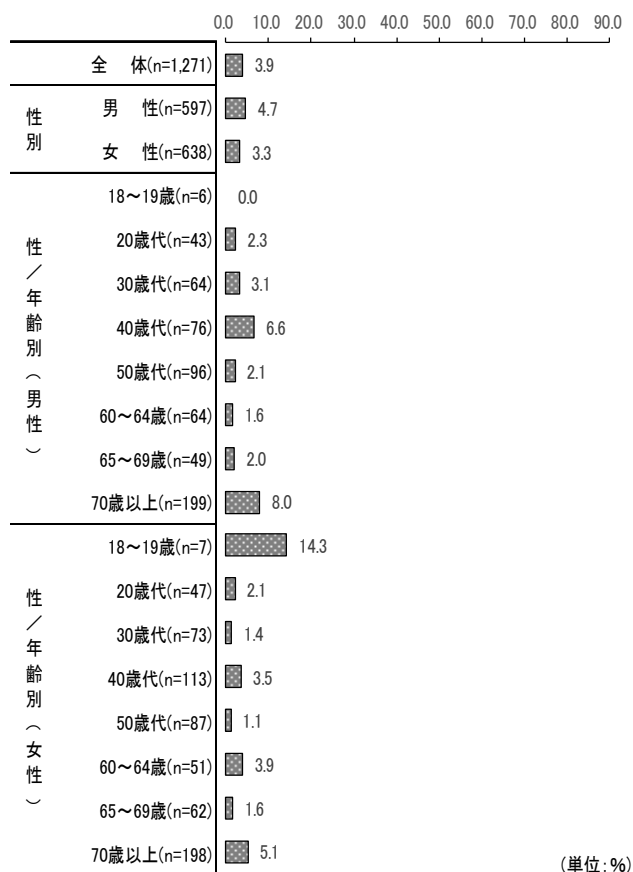
社会問題に関するもの(社会・時事、国際、環境など)



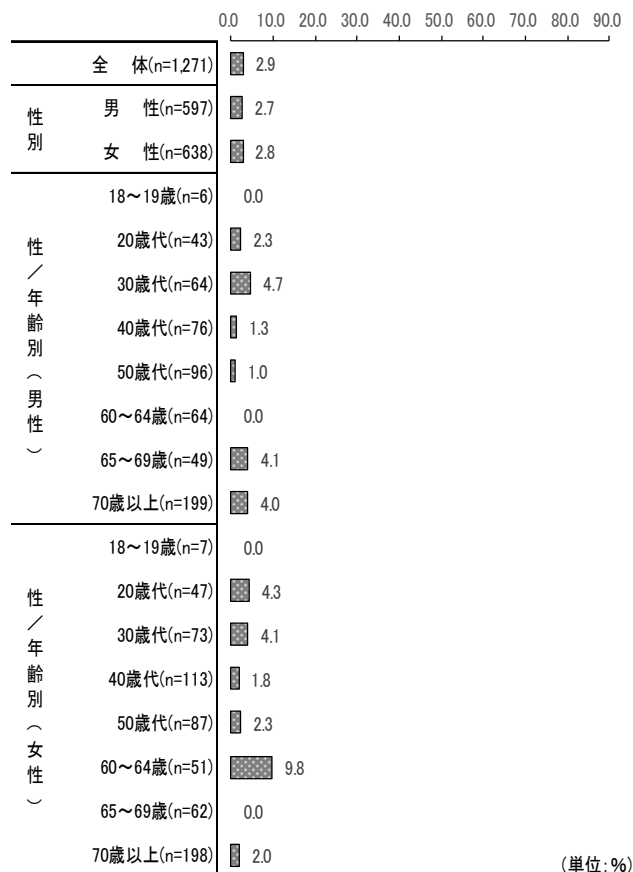
育児・教育(家庭教育、幼児教育、教育問題など)



ボランティア活動のために必要な知識・技能



自然体験や生活体験などの体験活動

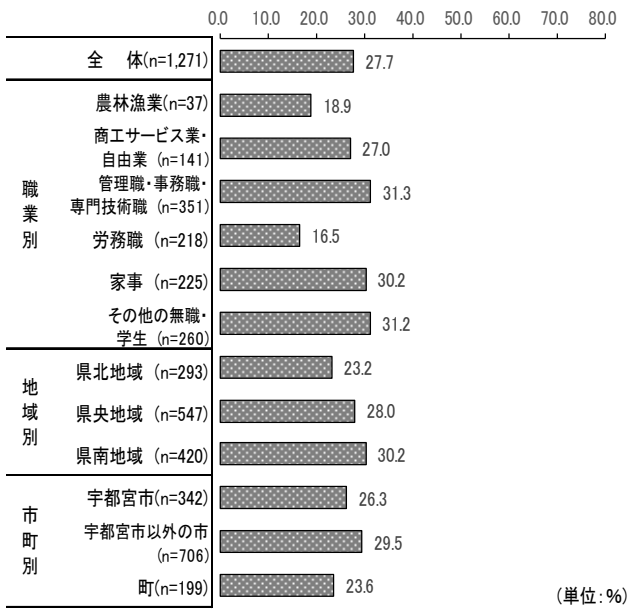


性別で見ると、「家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）」では〈女性〉17.9%が、〈男性〉5.7%より12.2ポイント高く、最も差が大きい項目となっている。

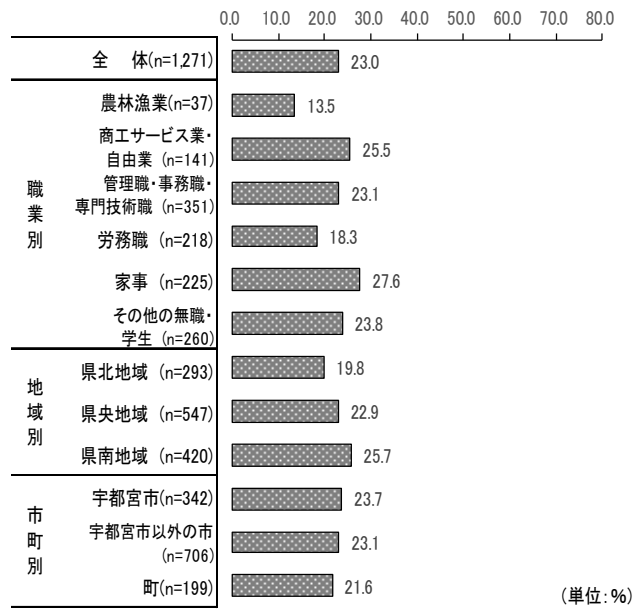
性/年齢別で見ると、「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」では〈男性20歳代〉37.2%が高く、〈女性30歳代〉12.3%が最も低くなっている。「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踏、書道、レクリエーション活動など）」では〈男性20歳代〉39.5%が高く、〈男性40歳代〉10.5%が最も低くなっている。

[職業別・地域別・市町別] (上位10項目)

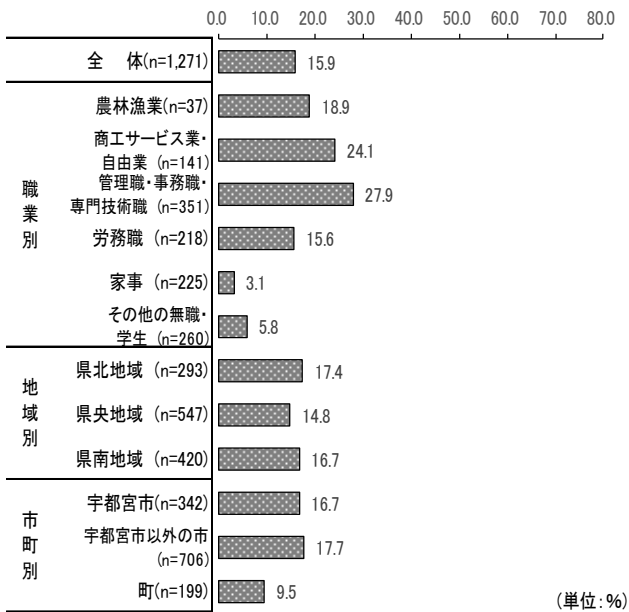
健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)



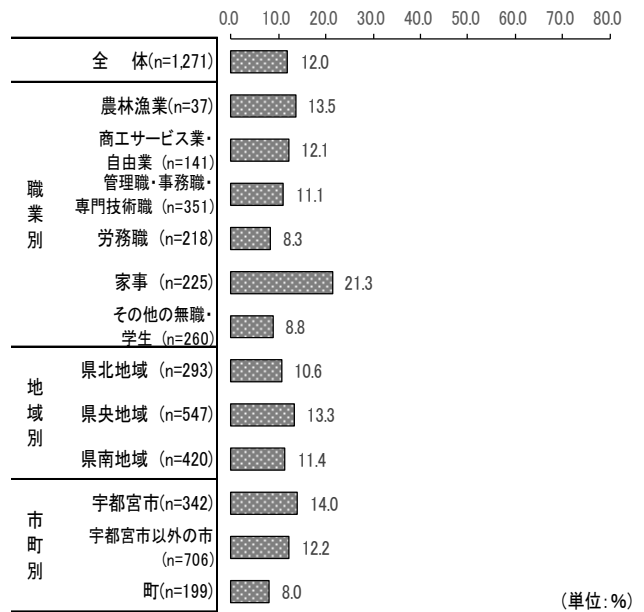
趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踏、書道、レクリエーション活動など)



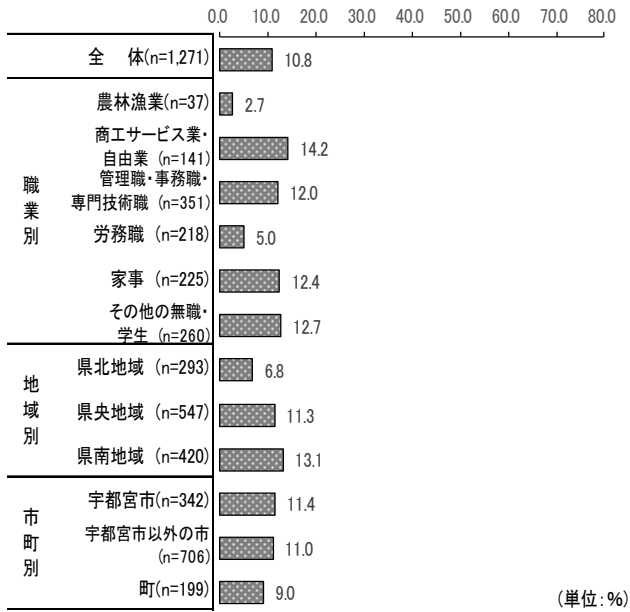
職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)



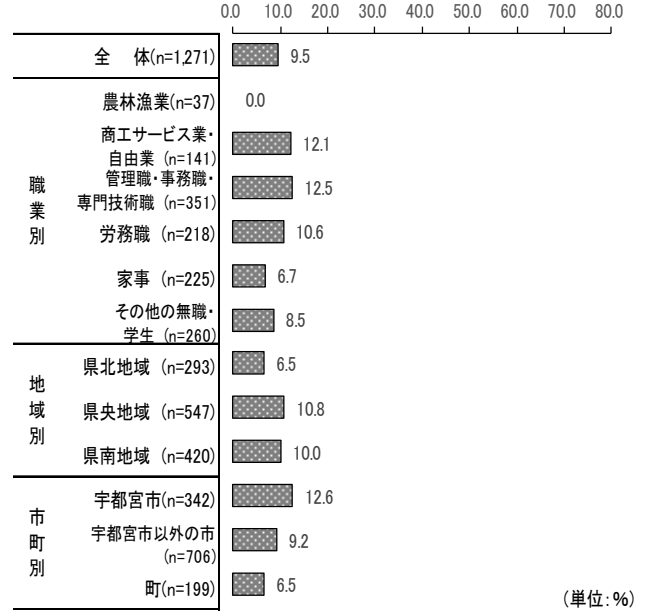
家庭生活に役立つ技能(料理、洋裁、和裁、編み物など)



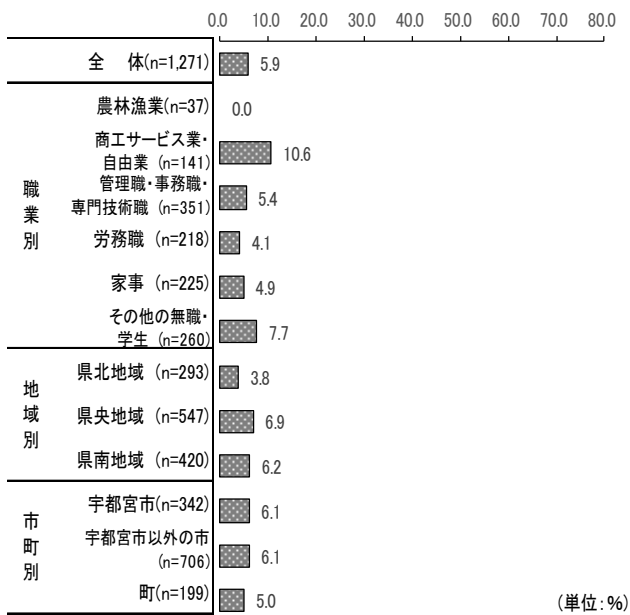
教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)



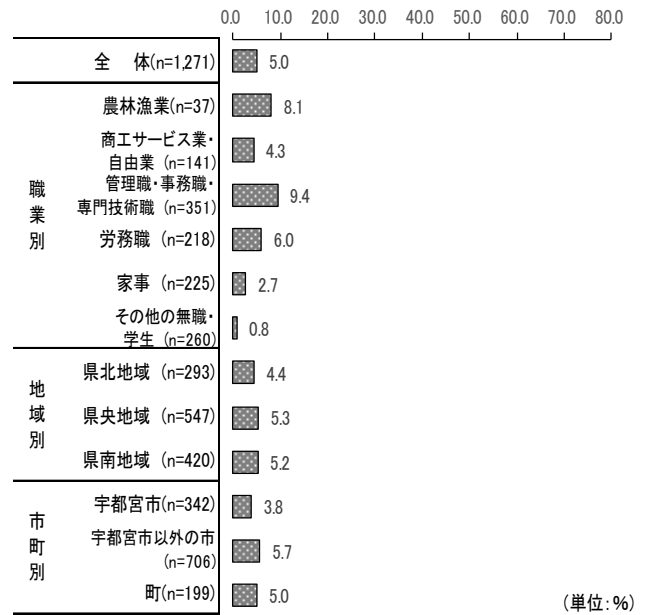
情報端末やインターネットに関すること



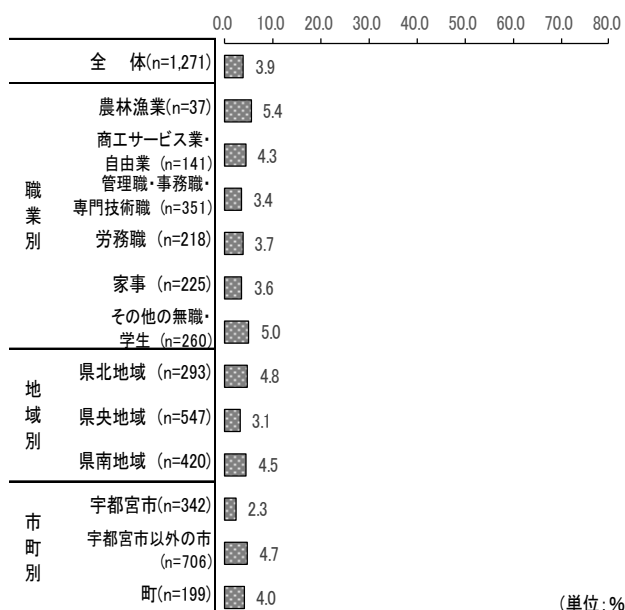
社会問題に関するもの(社会・時事、国際、環境など)



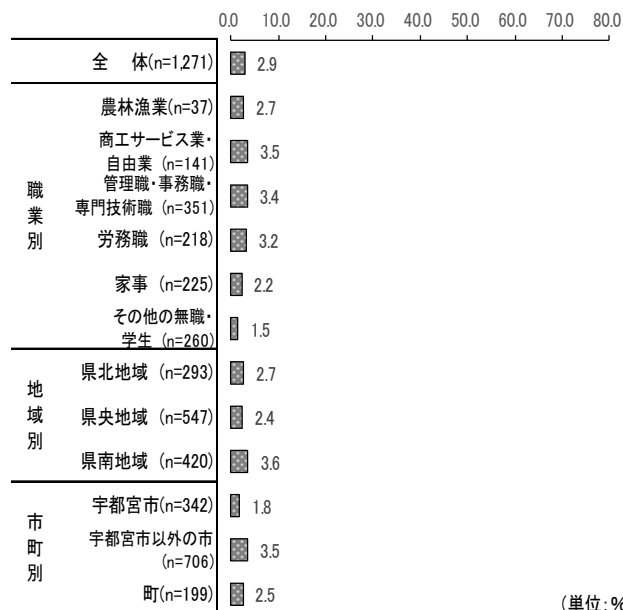
育児・教育(家庭教育、幼児教育、教育問題など)



ボランティア活動のために必要な知識・技能



自然体験や生活体験などの体験活動



職業別で見ると、「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」では〈管理職・事務職・専門技術職〉と〈その他の無職・学生〉がともに約31%で高く、〈労務職〉16.5%が最も低くなっている。「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踏、書道、レクリエーション活動など）」では〈家事〉27.6%が最も高く、〈農林漁業〉13.5%が最も低くなっている。

地域別で見ると、「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」では〈県南地域〉30.2%が最も高く、〈県北地域〉23.2%が最も低くなっている。「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踏、書道、レクリエーション活動など）」では〈県南地域〉25.7%が最も高く、〈県北地域〉19.8%が最も低くなっている。

市町別で見ると、「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」、「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踏、書道、レクリエーション活動など）」では、ともにすべての分類で2割台となっている。



## (2) 生涯学習を行った理由

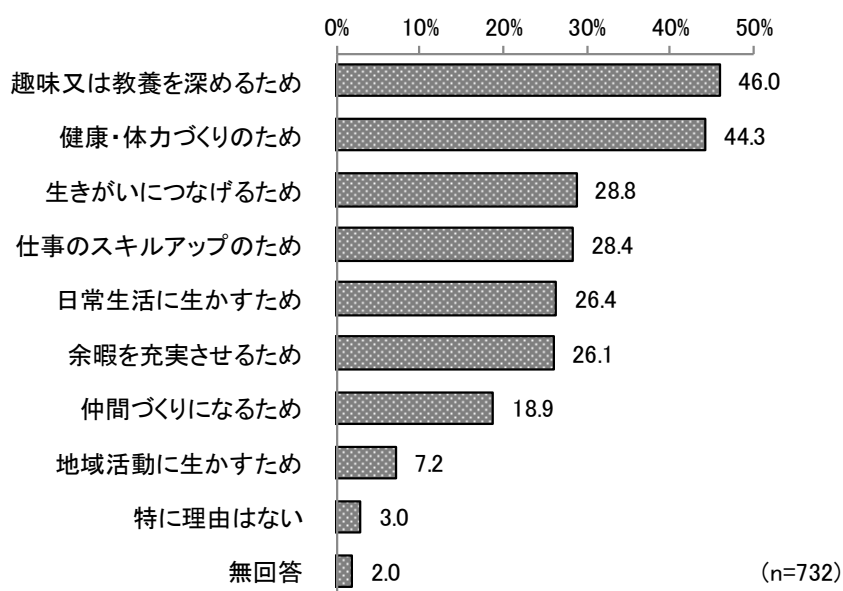
(問20で選択肢「1」～「11」を選んだ方のみお答えください)

問21 あなたが、生涯学習を行った理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=732]

|                |       |              |      |
|----------------|-------|--------------|------|
| 1 趣味又は教養を深めるため | 46.0% | 6 地域活動に生かすため | 7.2% |
| 2 仲間づくりになるため   | 18.9  | 7 日常生活に生かすため | 26.4 |
| 3 生きがいにつなげるため  | 28.8  | 8 余暇を充実させるため | 26.1 |
| 4 健康・体力づくりのため  | 44.3  | 9 特に理由はない    | 3.0  |
| 5 仕事のスキルアップのため | 28.4  | (無回答)        | 2.0  |

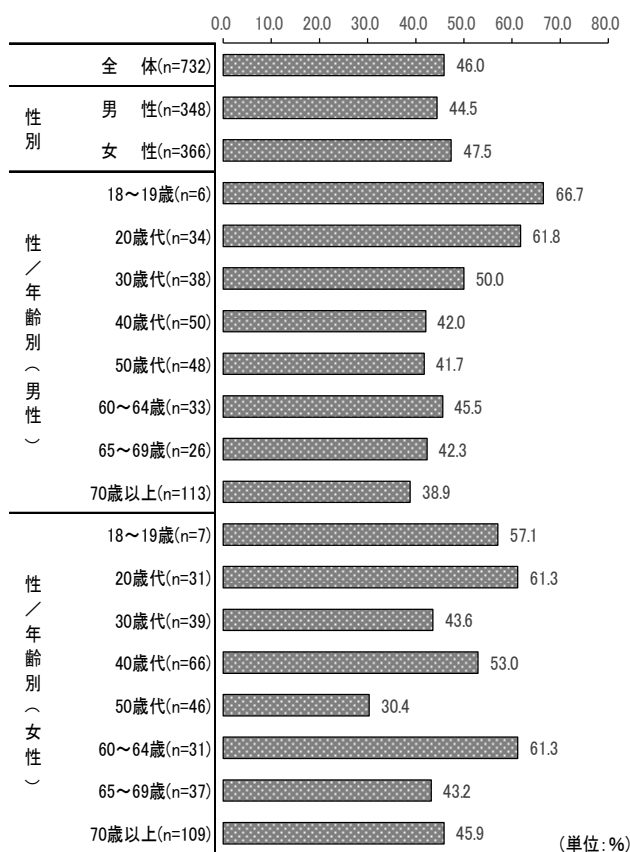
【令和6(2024)年】



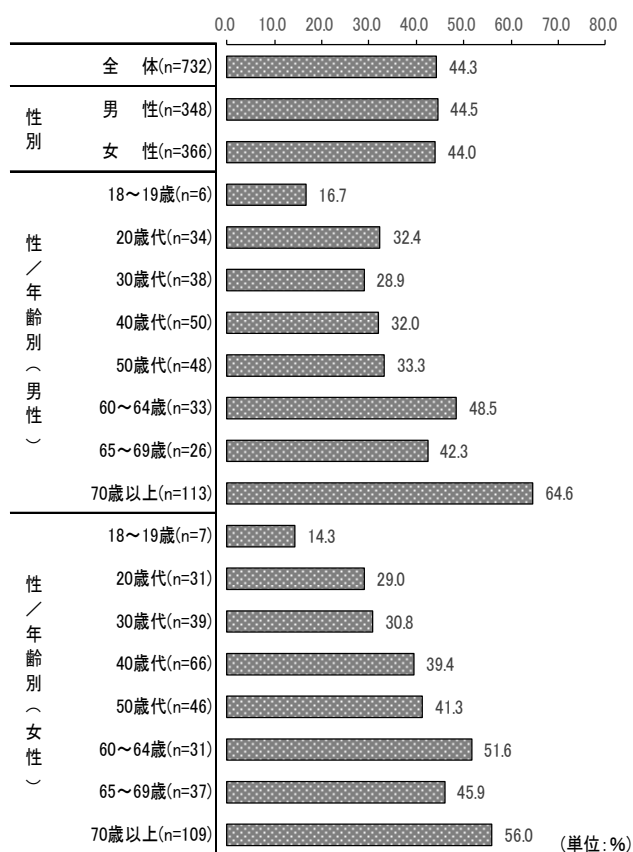
全体で見ると、「趣味又は教養を深めるため」(46.0%)が4割半ばで最も高く、次いで「健康・体力づくりのため」(44.3%)、「生きがいにつなげるため」(28.8%)、「仕事のスキルアップのため」(28.4%)の順となっている。

[性別・性／年齢別]

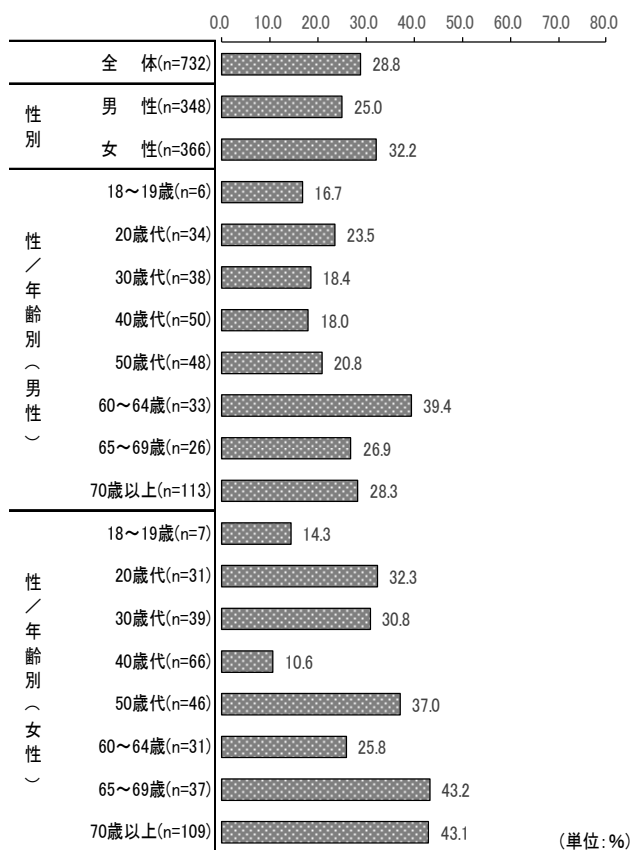
趣味又は教養を深めるため



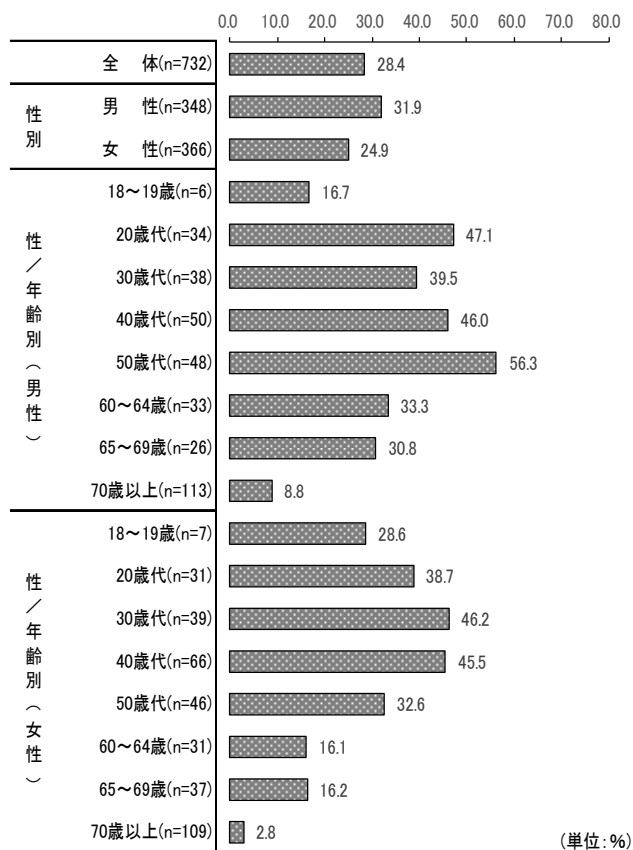
健康・体カづくりのため



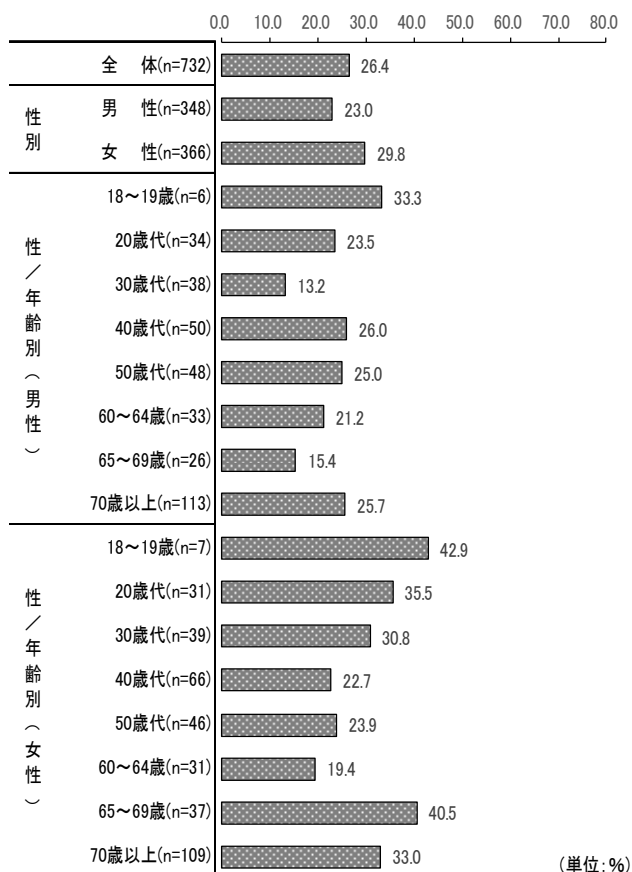
生きがいにつなげるため



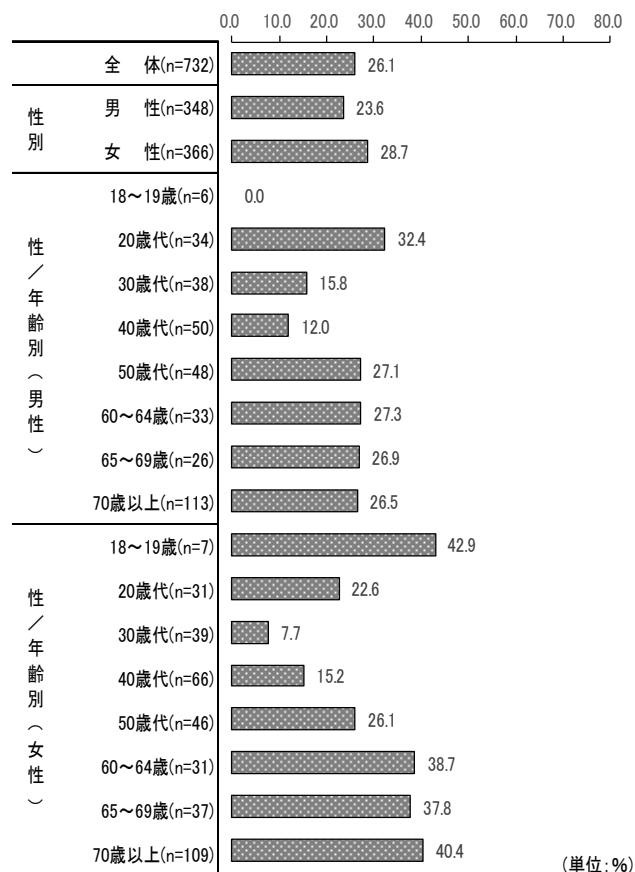
仕事のスキルアップのため



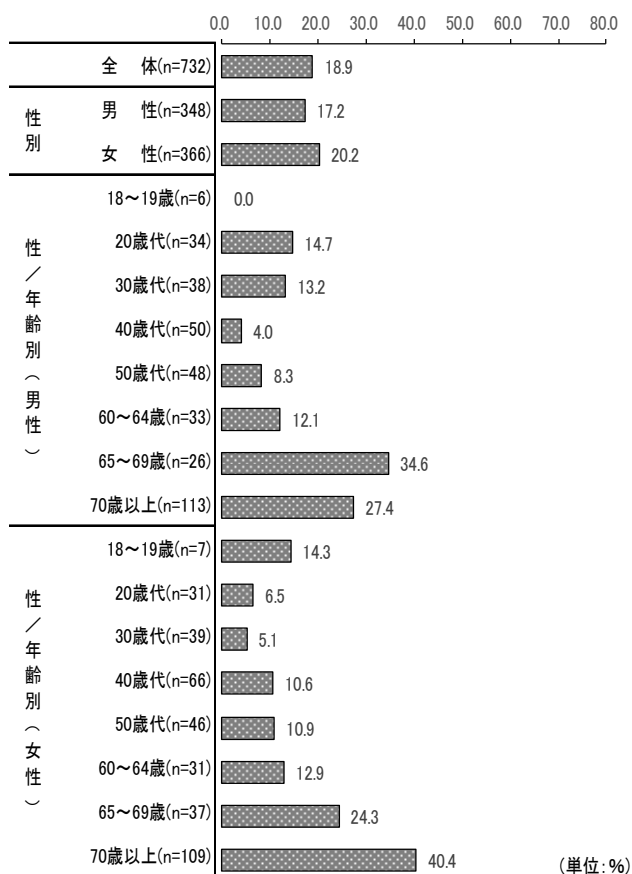
日常生活に生かすため



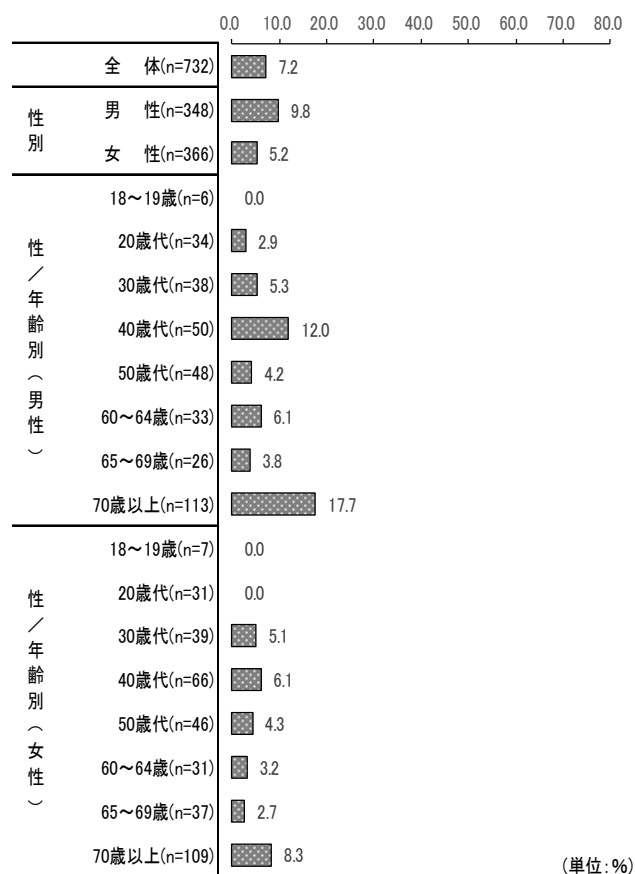
余暇を充実させるため



仲間づくりになるため



地域活動に生かすため



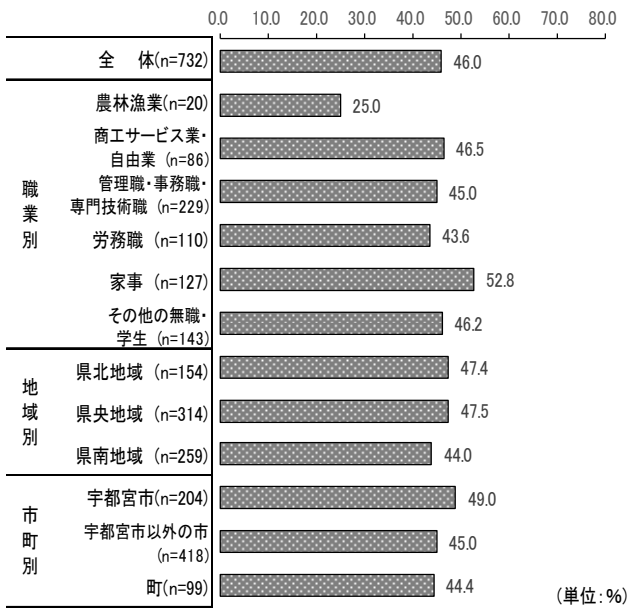


性別で見ると、「生きがいにつなげるため」では〈女性〉32.2%が、〈男性〉25.0%より7.2ポイント高く、最も差が大きい項目となっている。「仕事のスキルアップのため」では〈男性〉31.9%が、〈女性〉24.9%より7.0ポイント高くなっている。

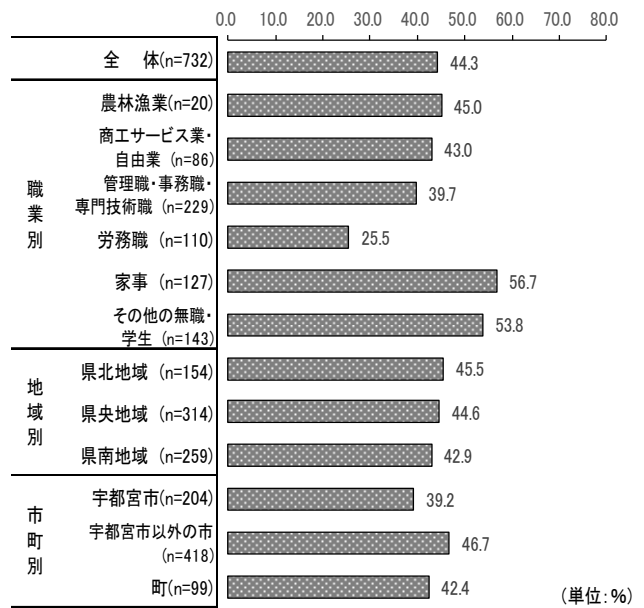
性別／年齢別で見ると、「趣味又は教養を深めるため」では〈男性20歳代〉〈女性20歳代〉〈女性60～64歳〉がいずれも約61%で高く、〈女性50歳代〉30.4%が最も低くなっている。「健康・体力づくりのため」では〈男性70歳以上〉64.6%が最も高く、〈男性30歳代〉28.9%が低くなっている。

[職業別・地域別・市町別]

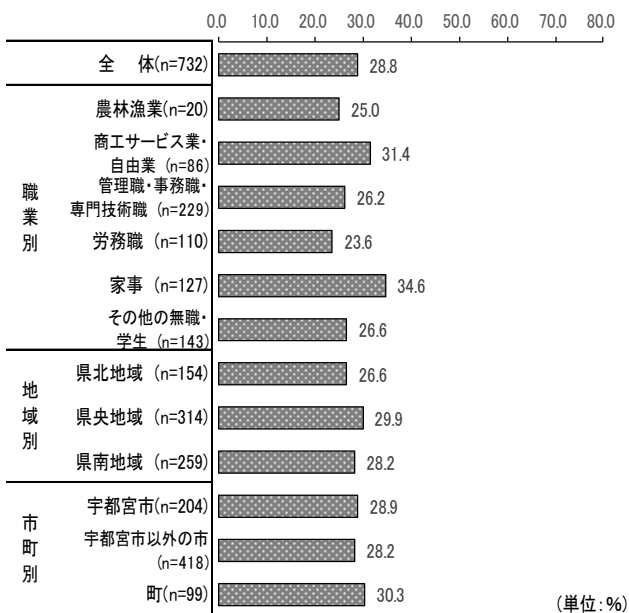
趣味又は教養を深めるため



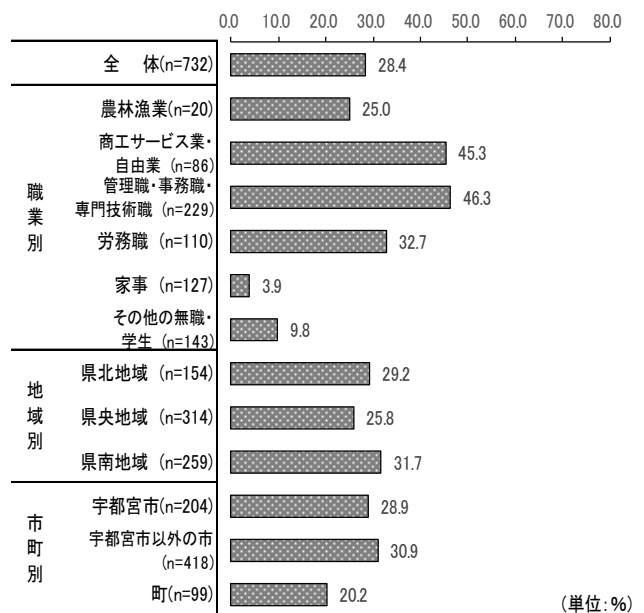
健康・体力づくりのため



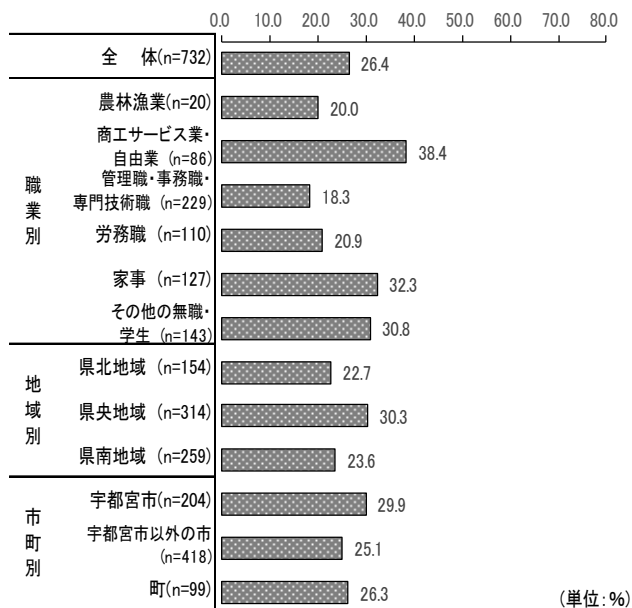
生きがいにつなげるため



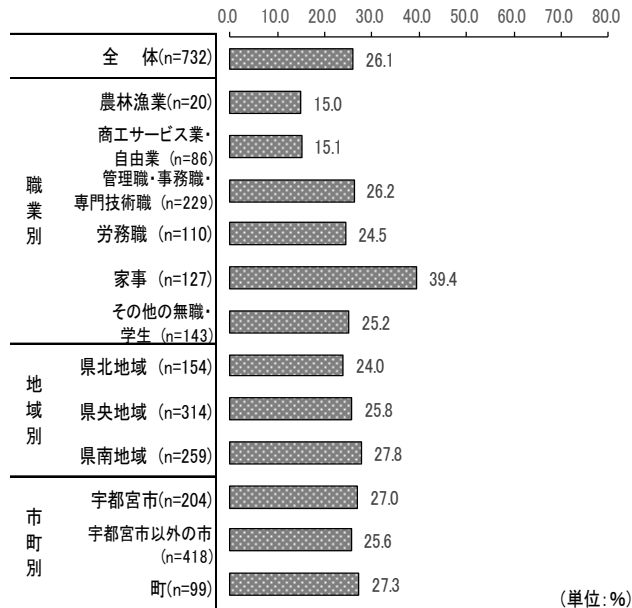
仕事のスキルアップのため



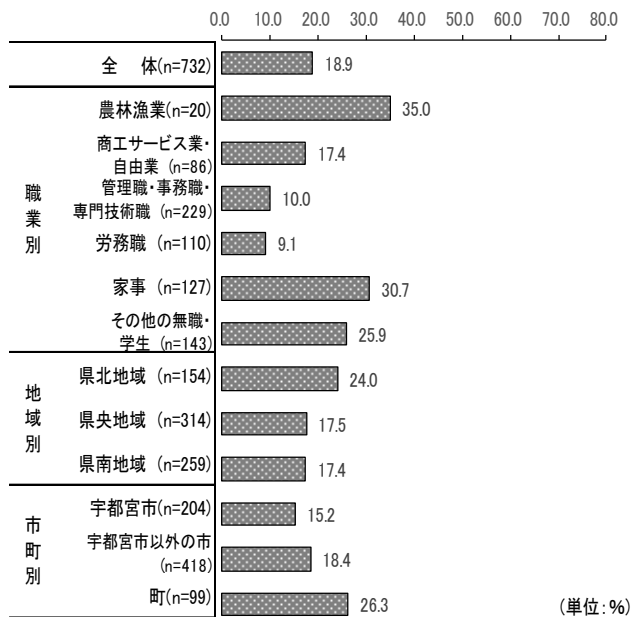
日常生活に生かすため



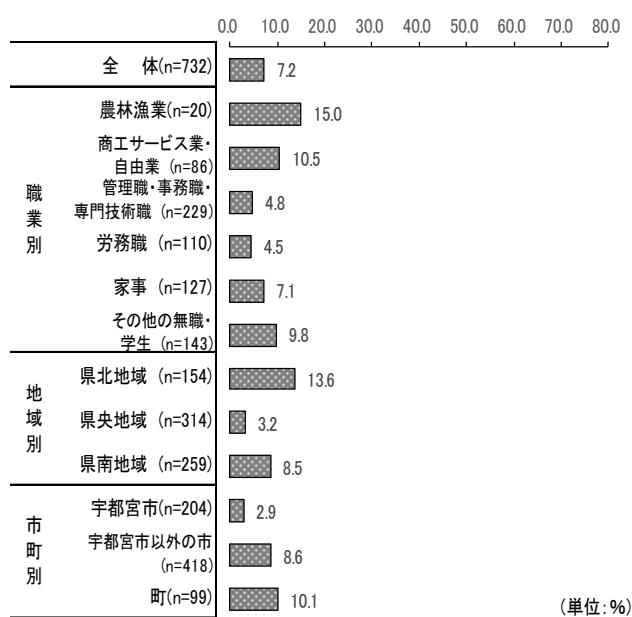
余暇を充実させるため



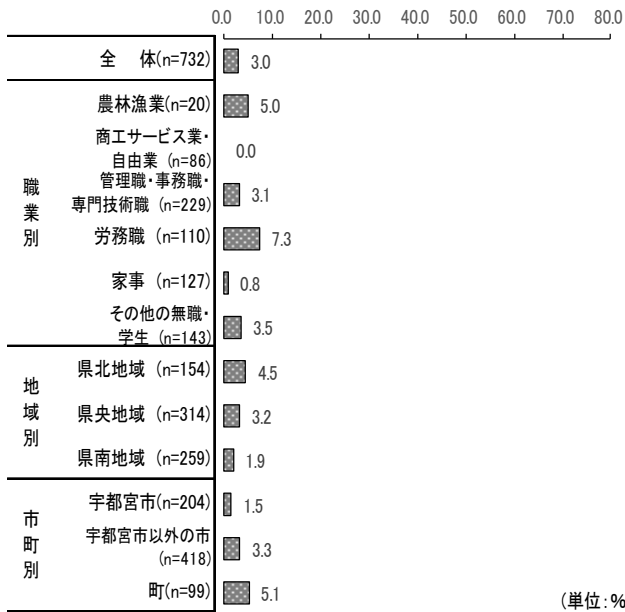
仲間づくりになるため



地域活動に生かすため



特に理由はない



職業別で見ると、「趣味又は教養を深めるため」では〈家事〉52.8%が最も高く、〈農林漁業〉25.0%が最も低くなっている。「健康・体力づくりのため」では〈家事〉56.7%が最も高く、〈労務職〉25.5%が最も低くなっている。

地域別で見ると、「趣味又は教養を深めるため」、「健康・体力づくりのため」では、ともにすべての分類で4割台となっている。

市町別で見ると、「趣味又は教養を深めるため」ではすべての分類で4割台となっている。「健康・体力づくりのため」では〈宇都宮市以外の市〉46.7%が最も高く、〈宇都宮市〉39.2%が最も低くなっている。